

あたたかな まなざしを

～アドベント～

ラテン語で「来るべき」という意味であるアドベントは、キリストが地上に来られるという約束と、それに対する期待をあらわし、「待降節」と訳されています。クリスマスを迎える準備の時、12月25日の前の4回の日曜日を経て、クリスマスに至る期間がそれに当たります。

☆アドベントクランツ☆

幼稚園ではクリスマス物語の聖画を各保育室に飾り、アドベントクランツのローソクに火を灯して礼拝を守っています。ローソクは4本あり、1週ごとにローソクの灯が増えていきます。次第にクリスマスが近づいてくることを、ローソクの灯が増えていくことで感じてほしいと思います。

☆幼稚園の装飾☆

- ・アドベント第1週目はクリスマスツリー、ポインセチアを飾りました。
- ・アドベント第2週に入ると保育者手作りの装飾を保育室の窓に飾り、シクラメンが彩られています。
- ・保育室には、聖画、アドベントクランツ、担任手作りのアドベントカレンダーなどなど。一度にクリスマスではなく、少しずつ準備をしていくことで、クリスマスの訪れを待つ喜びです。

保育者はイエスさまの降誕物語を心に留め、クリスマスの意味を考えながらプロセスを大切に、子どもたちは、日々の礼拝でイエスさまがお生まれになったお話を聞き、本当のクリスマスの意味を考えていきます。

子どもたち一人ひとりに「あたたかな まなざしを」注ぎ、アドベントの日々を穏やかに過ごしていきたいです。

保育室では、クリスマスの装飾、家族へのプレゼントをそれぞれに思いをめぐらし、考え、工夫して作っていきます。装飾は、各ご家庭で飾っていただくと子どもたちはとても喜ぶと思います。

今年はどのようなアドベントの日々を過ごし、クリスマスを迎えることができるでしょうか。待つ喜びをあじわいつつ、神さまの守りのなかで、豊かなときを過ごすことができますように。